

廃プラスチック分別収集・再資源化事業 – アンケート（調査概要）

1 目的

廃プラスチックの分別収集・再資源化事業を実施するに当たり、本格実施に向けた分別方法や事業周知方法等の基礎資料を得ることを目的に、モデル地区居住者の分別状況や事業に対する考え方等を把握するために実施した。

2 実施期間

令和6年1月9日～3月31日

3 調査方法

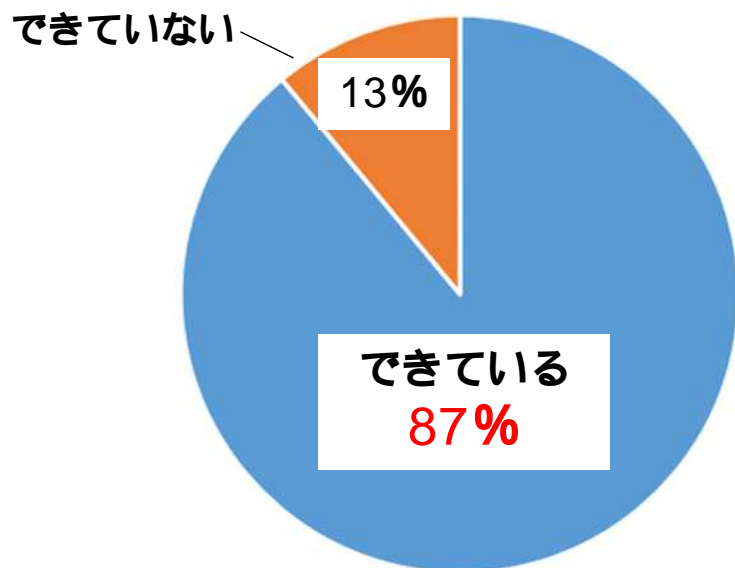
モデル地区の町会にアンケート用紙を配布するとともに、住民説明会の場でも配布した。また、インターネット上も回答可とし、上記以外の区民も回答できるよう実施した。

4 回答状況（集計期間：令和6年1月9日～3月31日）

968件

アンケート結果（概要）

問「プラスチックの分別ができていますか」



モデル地区居住者の回答結果（概要）

87%が分別できていると回答

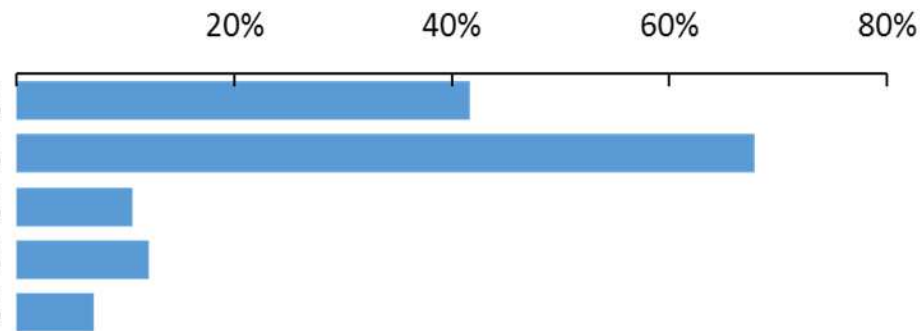
「汚れの度合」「プラ素材の判別」で分別に迷う方が多い。

排出の際に「風で飛びやすい」「出し方のマナーが悪い」ことに困っている方が一定数いる。

「チラシ全戸配布」「回覧板・掲示板」「区報」で事業を知った方が多く、特に「チラシ全戸配布」を効果的な周知方法と考える方が多い。

問「プラスチックを分別するうえで困っている点」

分別に困っている点	回答数	割合
・プラスチック素材の判別	205	42%
・汚れの度合	328	68%
・大きさの判別	54	11%
・困っていない	59	12%
・その他	36	7%
合計	682	



複数回答のため、割合の合計値は100%を超える。

アンケート結果（モデル地区居住者）

モデル地区居住者への設問（N=483）

問2～5は複数回答可

問1 プラスチックを「プラスチックの日」に分別して出していますか。

87%が「できている」と回答

問2 プラスチックを分別するうえで、どういった点に困っていますか。

「汚れの度合（68%）」が最も多く、次に「プラスチック素材の判別（42%）」となっている。

問3 プラスチックを回収場所に出すとき、どういった点に困っていますか。

「困っていない（42%）」が最も多いが、「風で飛びやすいこと」「マナーが悪いこと」「不法投棄されること」に一定数の回答がある。

問4 プラスチックを「プラスチックの日」に分別して出すことをどこで知りましたか。

「回覧板・掲示板（60%）」が最も多く、次に「チラシ全戸配布（49%）」「区報（25%）」の順となっている。

問5 プラスチックの資源回収を進めるために充実させた方がよいと思う周知方法はどれですか。

「チラシ全戸配布（66%）」が最も多く、次に「回覧板・掲示板（53%）」「区報（31%）」の順となっている。

アンケート結果（モデル地区以外の居住者）

モデル地区以外の居住者への設問（N=485）

全て複数回答可

問6 プラスチックを分別するうえで、どういった点が難しいと思いますか。

「汚れの度合（68%）」「プラスチック素材の判別（64%）」が、突出して多い。

問7 プラスチックを回収場所に出すとき、どういった点が難しいと思いますか。

「出し方のマナーが悪い（59%）」が最も多く、次に「風で飛びやすい（38%）」「不法投棄される（36%）」となっている。

問8 プラスチックを「プラスチックの日」に分別して出すことをどこで知りましたか。

「回覧板・掲示板（47%）」が最も多く、次に「区報（32%）」「住民説明会（15%）」の順となっている。

問9 プラスチックの資源回収を進めるために充実させた方が良いと思う周知方法はどれですか。

「チラシ全戸配布（70%）」が最も多く、次に「回覧板・掲示板（38%）」「区報（34%）」の順となっている。